



東明

□令和2年7月1日発行

□男鹿市立男鹿東中学校

男鹿市船越字根木169番地

～ ワンチーム東中，感謝の心でいざ出陣 ～ 校長 木村 守人

校地内の正面玄関側はヤマボウシの白と緑，サルビアの赤と紫，マリーゴールドの黄と朱，中庭と食堂に目を移すと，サツキの薄紅などが色鮮やかです。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休業措置を終え，学校再開から約2か月になろうとしています。東中生は，自ら努力を重ねつつ，新たな生活様式にも慣れて，笑顔で学校生活を送っています。

地区総合体育大会に向けて校長激励の言葉

選手の皆さん，いよいよ待ちに待った夏の地区総体大会が，7月11日から12日までの二日間開催できるとなりました。運動部の3年生にとっては，中学校生活を総括する大会となります。これまで蓄えてきた力を存分に発揮してほしいと思います。皆さんの晴れ晴れとした姿を見るのが本当に楽しみです。

さて，今大会は第4回男鹿潟上南秋中学校総合体育大会となります。今年度は，新型コロナウイルス感染拡大防止のために，秋田県大会をはじめとした上位大会が全て中止となりましたが，皆さんは地区大会の開催を願い，5月の連休明け7日から部活動を再開しました。部員全員が健康に留意しながら，体力の回復に努めるとともに，各競技・種目における技能等の向上を目指して粘り強く練習を重ねてきました。この間私は，皆さんが互いに励まし合い，力を合わせて，個やチームで設定した目標の達成に向けて努力してきた姿を身近で見えてきました。6月中旬からは，部員一人一人が心身ともに充実し，本来もっている力を発揮できるようになってきたと肌で感じるようになりました。今大会では，試合ができる喜びを感じながら，対戦相手に敬意を払ってほしいと思います。そして，互いに競い合い，認め合って，生涯にわたって喜び合える仲間をたくさんつくってほしいと思います。全てのチームと個人に，目標を達成するチャンスがあります。優勝という目標に向かって「笑顔で挑戦」してほしいと思います。

振り返ってみると，昨年度の地区秋季大会では，野球とバスケットボール女子が久しぶりに優勝を飾ったほか，準優勝が4競技，個人優勝も多数と大健闘しました。その勢いに乗り，全県秋季大会では，ラグビーが優勝，バスケットボール女子が第三位，野球と柔道男子団体はベスト8，陸上競技女子では個人優勝を含めて上位入賞も複数ありました。これらの成績は，いずれも特筆されるニュースとなりました。今大会では，昨年度の秋季大会以上の成績を期待しています。

最後に，3年生にとっては，中学校運動部活動を総括する大会ですので，キーワードは「感謝の心」にしてほしいと思います。指導して下さった先生方，支え

て下さったご家族の皆さん，共に励まし合った仲間感謝の心を忘れずに，自分ももっている全力を出し切ってほしいと思います。全校生徒282名と教職員39名，ご家族や地域の皆さん，卒業した先輩や小学校の恩師の先生方も応援しています。これまで支援して下さった全ての人たちに感謝の心を抱いて競技に臨み，その勇姿を披露することにより，元気と勇気と感動を与えてください。健闘を祈っています。

伝統ある花壇の苗植え活動により心を耕す

6月10日に，本校自慢の花壇内に，花の苗植え活動を行いました。例年であれば，全校縦割り班40班に分かれて，一斉に活動していたのですが，今年度は，新型コロナウイルス感染予防を念頭に置き，「三密」を避けるために，新たな方法を考案しました。各縦割り班の場所をネームプレートで分かりやすく表示した上で，花の苗を植える際には，各学年ごとに活動する計画を立てました。

1校時目は，要領を得ている3年生が，自らの苗を植えるとともに，後輩の植える場所に丁寧に印を付けてレイアウトを描きました。3校時目は，2年生が割り当ての箇所それぞれ分かれて苗植えするとともに，散水を加えました。5校時目は，1年生が苗植えと花壇の草取りなどを行い，花壇全体の仕上げを行いました。学年ごとに活動したのですが，見事に連携が取れていて，例年以上にすばらしい出来栄となりました。

伝統あるこの活動を，本校職員が次の言葉で評価していました。「東中生には，愛校心が育っていますね。学校を美しくするために，そして保護者や来校者，地域の皆さんに喜んでもらうために，毎年よく頑張っています。」

こんなにうれしいことはありませんでした。東中生は，学校や地域のために何ができるかをよく考えていたのです。学校や地域に貢献する志は，自然に育まれていたのです。生徒は，単に目の前の土を耕しているのではなく，実はもっと大切な心を耕していたと解釈できるのではないのでしょうか。本校が目指す生徒の姿の一つに「自らの役割を果たして他者に認められる」「他者に認められることを通して，やればできるという自信をもつ」姿がありますが，見事に具現された実感する活動となりました。【丁寧に地植えをする1年生】

